

徳島県教育委員会

教職員課長様

子どもと教育・くらしを守る徳島県教職員の会 代表世話人 井内哲也
住所 徳島市川内町鶴島115 黄金ビル1階 徳島弁連事務所 ☎088-665-6644

質問書

徳島県の教育進展のための日頃のご努力に敬意を表します。

10月11日には、陳情の場を設けていただき、ありがとうございました。昨年同様に、陳情の場では時間不足でお伺いできていなかったことを質問させていただきます。以下の「質問事項」について、ご回答をお願いいたします。

質問事項

1. 教職員の会の情報公開請求に対して、9月25日「教教第476号」で公開決定された文書(以下「調査票」)について

(1)調査票(8)の「教師の採用計画を立てる際、正規教員の割合など正規教員の採用に関する何らかの目標を設定している、あるいは設定する予定がありますか。設定している、あるいは設定する予定がある場合は、具体的な目標の内容を、設定しておらず設定する予定もない場合は、その理由をご回答ください」の問い合わせに対して、「設定あり。小中学校では正規比率 95%という目標を設定して採用計画を立てている」と回答している。この回答について、

①正規比率に関して、「再任用教員(フルタイム・パート)」は正規として扱われているのか。

②今年度と昨年度の正規率は何%か。小中・県立関係の別で

③正規率「95%」はいつまでの目標か。

④高校・特別支援学校は目標設定していないのか。する予定はないのか

(2)調査票(9)「定年引き上げに伴い、新規採用者数を平準化する等の取組により、教師不足の状況が改善する見込みかどうか」の問い合わせに、「改善する見込み」と回答している。これは、定年退職者がいない場合も定欠等の非正規教員枠を正規教員枠に振り返ることで、定欠等の臨時教員数が減少するため臨時教員不足が改善するということか。

2. 非常勤講師の業務である成績処理について、年間4～5回ある定期考查の採点は、授業1コマあたり年間2時間の超過勤務では、時間不足ではないか。

3. 臨時教員不足に関して、5月1日時点での「未配置数」が昨年度と比べて、高校で6件、特別支援学校で8件増加している。この原因の一つとして、定欠が高校で37名、特別支援学校で27名増加していることが考えられるのではないか。

4. 11月1日時点での未配置数を、校種別で。

5. 今年度実施の教員採用審査で50歳代の受審者数と合格者数は何名か(校種別の数は必要ない)。

6. 今年度の中学校2、3年の学級編成基準は40人か。その場合、学校裁量で35人学級にしても、教員の配当は40人学級として配当されるのか。

以上